

胃の検査

胃レントゲン

上部消化管 X線検査 …… 造影剤のバリウム液を飲んで、食道から胃、十二指腸までをX線写真で映し出す検査です。異常がなければバリウムがスムーズに流れますが、ポリープなどの突起、潰瘍などでできたくぼみなどがあると画像に変化が現れます。バリウムを行きわたらせるためにからだを回転していただきます。音声で指示をお出ししますが、ご心配なことがあれば事前にお問い合わせください。

前日は

検査時に胃をカラにしておく必要があります。夕食は21時までにごまかせていただき、以降は絶食としてください。夕食は消化の良いものを食べてください。

当日は

絶食・絶飲としてください。(コップ1杯程度の水ならかまいませんが、検査の2時間前までに飲んでください。)タバコも控えてください。粉薬は検査の妨げになるため飲まないでください。ただし、常用薬は検査当日の早い時間に内服してください。また糖尿病の薬、インシュリンは低血糖を起こす危険がありますので内服、注射はしないでください。

検査後は

バリウムを排出するためなるべく多くの水を飲んでください。検査時の発泡剤を飲む水の中に下剤があらかじめ含まれていますが、夕方まで排便がない場合は追加でお渡しした下剤(錠剤)を飲んでください。検査後はバリウム排出のため白っぽい便が出ます。

●胃X線(バリウム)検査の同意書の検査に適しない場合は事前にお申し付けください。

胃内視鏡

胃カメラ

…… 内視鏡を口、または鼻から入れて胃や十二指腸などの内壁を直接観察します。検査時には胃をカラにしておく必要があります。夕食は消化の良いものを食べてください。タバコは控えてください。粉薬は検査の妨げになるため飲まないでください。ただし、常用薬は検査当日の早い時間に内服してください。また糖尿病の薬、インシュリンは低血糖を起こす危険がありますので内服、注射はしないでください。

午前予約の方

お食事は、前日の午後9時までに済ませていただき、それ以降は絶食です。

午後予約の方

お食事は、当日の午前3時までに済ませていただき、それ以降は絶食です。

※検査の2時間前まででしたら、お水を飲んでいただいてもかまいません。

- 検査を楽に受けられるように、希望により検査前に鎮静剤の静脈注射を使用します。痛みや咽頭反射の状態に応じて、適時注射の追加を行います。検査終了後は鎮静剤の効果がある程度取れるまで休んでください。
- 車・バイク等で来院される場合、鎮静剤は使用しません。鎮静剤ご希望の場合は公共交通機関でお越しください。高齢者、呼吸不全、授乳中の方は内視鏡医との相談となります。
- 医師の判断により、組織を採取して良性か悪性かを確認する病理組織検査(生検)を実施することがあります。この際、別途料金が発生しますので、あらかじめご了承ください。

裏面もご確認ください→

氏名: 様

手術・検査の名称： 上部消化管内視鏡検査（経鼻内視鏡も含む）

<検査日> 年 月 日

<目的> 胃や食道・十二指腸（上部消化管）にできる病気（炎症、潰瘍、ポリープ、癌 など）を見つけ、適切な治療方針を検討するために行います。

<方法> 内視鏡検査には、口から行う通常内視鏡と、鼻から行う経鼻内視鏡とがあり、経鼻用の内視鏡は径4.5mmと細くなっています。

咽喉の反射が強い場合には、経鼻内視鏡で行うと楽に検査が施行できます。希望によって、いずれかの検査方法を選択してください。なお、経鼻内視鏡は、鼻腔が狭く検査が出来ない場合があります。

内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸をまんべんなく観察し、病変の有無をチェックします。必要であれば組織を採取して、病理検査に提出します。（病理結果が判るまで2週間程度かかります）また、潰瘍からの出血などを認めた場合には、内視鏡的止血処置などの対応を必要に応じて行います。

検査を楽に受けられるように、希望により、検査前に鎮静剤の静脈注射を使用します。痛みや咽頭反射の状態に応じて、適時注射の追加を行います。検査終了後は鎮静剤の効果がある程度取れるまで休んでください。なお、車（バイクも含む）を運転して帰宅される方は、鎮静剤を使用しないことにしていますのでご了承ください。

<注意> 車・バイク等で来院される場合、鎮静剤は使用しません。鎮静剤ご希望の場合は公共交通機関でお越しください。高齢者、呼吸不全、授乳中の方は内視鏡医との相談となります。

<合併症> 経鼻内視鏡では鼻出血をよく認めます。ほとんどが検査後数分で止血します。ただ、まれに鼻中隔の損傷をきたしたりして痛みと出血が続く場合があります。食道や十二指腸は壁が薄く、まれに穿孔（管に小さな穴が開くこと）をきたすことがあります。嘔吐反射などで、食道裂傷や胃粘膜損傷をきたし、出血を認める場合もあります。

これらの合併症は、内視鏡的処置によりほとんどが対応可能ですが、場合によっては入院をしていただく必要があります。穿孔部が大きい場合などは、外科的に手術を必要とする場合があります。

咽頭麻酔や鎮静剤で、まれにショックをきたすことがあります。

<代替方法> 胃の検査方法には バリウムを使った、胃透視検査があります。しかし、異常があった場合でも、組織の検査は出来ません。検査を受けなかった場合には、病気の発見を遅らせてしまい、潰瘍の場合は悪化して出血や穿孔をきたし、悪性病変の場合には手術が不可能な状態に進行し数ヶ月～数年で末期状態に至ってしまう可能性があります。

広島共立病院 院長 村田 裕彦



私は、上記の内容を受け、上記の手術・検査・麻酔を受けることに同意いたします。また、上記の手術・検査・麻酔の実施中に緊急かつ医学上の立場から処置の追加や変更が適切かつ必要な場合には、その処置を受けることについても同意いたします。

年 月 日

広島共立病院院長 殿

・ご本人の署名 _____

利用者が未成年者、又は意志を表明できない者の場合

・代理人さまご署名 _____ (続柄)

説明・同意書

15番健診センターへ提出してください（病院控）

氏名： 様

(ID)

手術・検査の名称： 上部消化管内視鏡検査（経鼻内視鏡も含む）

<検査日> 年 月 日

<目的> 胃や食道・十二指腸（上部消化管）にできる病気（炎症、潰瘍、ポリープ、癌 など）を見つけ、適切な治療方針を検討するために行います。

<方法> 内視鏡検査には、口から行う通常内視鏡と、鼻から行う経鼻内視鏡とがあり、経鼻用の内視鏡は径4.5mmと細くなっています。

咽喉の反射が強い場合には、経鼻内視鏡で行うと楽に検査が施行できます。希望によって、いずれかの検査方法を選択してください。なお、経鼻内視鏡は、鼻腔が狭く検査が出来ない場合があります。

内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸をまんべんなく観察し、病変の有無をチェックします。必要であれば組織を採取して、病理検査に提出します。（病理結果が判るまで2週間程度かかります）また、潰瘍からの出血などを認めた場合には、内視鏡的止血処置などの対応を必要に応じて行います。

検査を楽に受けられるように、希望により、検査前に鎮静剤の静脈注射を使用します。痛みや咽頭反射の状態に応じて、適時注射の追加を行います。検査終了後は鎮静剤の効果がある程度取れるまで休んでください。なお、車（バイクも含む）を運転して帰宅される方は、鎮静剤を使用しないことにしていますのでご了承ください。

<注意> 車・バイク等で来院される場合、鎮静剤は使用しません。鎮静剤ご希望の場合は公共交通機関でお越しください。高齢者、呼吸不全、授乳中の方は内視鏡医との相談となります。

<合併症> 経鼻内視鏡では鼻出血をよく認めます。ほとんどが検査後数分で止血します。ただ、まれに鼻中隔の損傷をきたしたりして痛みと出血が続く場合があります。食道や十二指腸は壁が薄く、まれに穿孔（管に小さな穴が開くこと）をきたすことがあります。嘔吐反射などで、食道裂傷や胃粘膜損傷をきたし、出血を認める場合もあります。

これらの合併症は、内視鏡的処置によりほとんどが対応可能ですが、場合によっては入院をしていただく必要があります。穿孔部が大きい場合などは、外科的に手術を必要とする場合があります。

咽頭麻酔や鎮静剤で、まれにショックをきたすことがあります。

<代替方法> 胃の検査方法にはバリウムを使った、胃透視検査があります。しかし、異常があった場合でも、組織の検査は出来ません。検査を受けなかった場合には、病気の発見を遅らせてしまい、潰瘍の場合は悪化して出血や穿孔をきたし、悪性病変の場合には手術が不可能な状態に進行し数ヶ月～数年で末期状態に至ってしまう可能性があります。

広島共立病院 院長 村田 裕彦

私は、上記の内容を受け、上記の手術・検査・麻酔を受けることに同意いたします。また、上記の手術・検査・麻酔の実施中に緊急かつ医学上の立場から処置の追加や変更が適切かつ必要な場合には、その処置を受けることについても同意いたします。

広島共立病院院長 殿

年 月 日

・ご本人の署名

利用者が未成年者、又は意志を表明できない者の場合

・代理人さまご署名

（続柄）

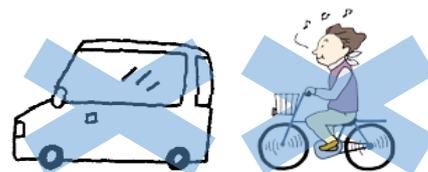
裏面もご確認ください→

胃カメラ検査を安全に行なうために問診票の記入にご協力をお願いします。

※ あてはまる項目に○印をつけて下さい。

1. 今までに胃カメラを受けたことがありますか。
はじめて
ある 最終検査日は（ ）年頃、（共立病院・他院）
2. 受けられた方にお聞きします。胃カメラの検査結果で指摘されたものはありますか。
特に異常なし
胃炎・ポリープ・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃癌・その他（ ）
3. 今までにピロリ菌の検査を受けたことがありますか。
①ピロリ菌がいた ②ピロリ菌がいなかった ③受けたことがない
ピロリ菌がいたと答えた方へ→治療の状況を教えてください
除菌成功・除菌できなかった・除菌していない・わからない
4. 今までにお腹の手術を受けたことがありますか。
ない
ある （胃・十二指腸・食道）
5. 現在、次のような症状がありますか。
症状なし
腹痛（食前・食後）・胸焼け・嘔気・胃もたれ・食欲低下・その他（ ）
6. 歯の状態はいかがですか。
問題ない ・入れ歯がある ・ぐらぐらする歯がある
7. 現在、脳梗塞・心筋梗塞などで血の流れをよくする薬を服用されていますか。
服用していない ・服用している
8. 今までに当院で胃カメラ検査をされた方にお尋ねします。
前回の検査の状況はいかがでしたか。
楽だった・つらかった・ふつう・その他（ ）
9. 当院では検査が楽にできる様に少し眠くなる注射（鎮静剤）を使っております。
今日の検査で注射を希望されますか。
希望しない・希望する

《注意事項》車・バイク等で来院される場合、鎮静剤は使用しません。鎮静剤ご希望の場合は公共交通機関でお越しください。高齢者・呼吸不全・授乳中の方は内視鏡医との相談となります。



検査当日はこの問診票と説明同意書を健診センターへお出しください。

ご協力ありがとうございました。

ご署名（ ）